

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎201
担当教員	池 宏海	実務経験と その関連資格	過去25年間、大阪歯科大学解剖学講座に大学院生・助手・助教・講師として従事していた。現在、開業医を務める傍ら、他の3校でも解剖学の講義を行っている。			
《授業科目における学習内容》						
医学の最も基礎となるのが正常な状態の構造を学ぶ解剖学である。解剖学的知識を習得し機能を学ぶ生理学、病態を学ぶ病理学に繋がる。これらの流れで臨床に役立たせることを目的とする。解剖学では人体を系統別に分けて講義を進めて行く。						
《成績評価の方法と基準》						
毎回の小テスト、中間試験と前期試験の結果で総合評価する。前期試験は四肢択一、記述、論述を混合させた形式とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医歯薬出版 解剖学 解剖学ハンドブック						
《授業外における学習方法》						
予習も重要であるが、毎回の講義・演習問題の復習をして、理解できなかった事項を克服する。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖学は地味な学問ですが、柔道整復師にとって最も重要な学問であることを認識すること。授業内容だけでなく、テレビ・雑誌・インターネットなどで得られた情報も知識とすることを薦めます。各自マイ・ノート作りが肝要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	解剖学の学問上の位置付けを理解 細胞の形と組織の種類・特徴を説明できる。		医歯薬出版 解剖学 配布プリント	高校の生物学で習ったことを思い出す。教科書にはないが数年前にオートファジーでノーベル賞を授与された大隈先生で細胞内小器官に再注目する。	
	各コマにおける授業予定	1. 人体解剖学概説 A意義と分類(①意義 ②分類 ③用語) B細胞と組織(①細胞 ②組織)				
第2回	授業を通じての到達目標	解剖学の学問上の位置付けを理解 細胞の形と組織の種類・特徴を説明できる。		医歯薬出版 解剖学 配布プリント	高校の生物学で習ったことを思い出す。教科書にはないが数年前にオートファジーでノーベル賞を授与された大隈先生で細胞内小器官に再注目する。	
	各コマにおける授業予定	1. 人体解剖学概説 A意義と分類(①意義 ②分類 ③用語) B細胞と組織(①細胞 ②組織)				
第3回	授業を通じての到達目標	生殖細胞(精子と卵子)と受精卵から組織・器官の発生過程を説明できる。人体の各部の名称を説明できる。		医歯薬出版 解剖学 配布プリント	今話題の生殖医療について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
	各コマにおける授業予定	C発生(①人体発生 ②組織・器官の発生) D器官系統(①定義 ②器官系) E人体の区分(①区分 ②細区分 ③区分線)				
第4回	授業を通じての到達目標	生殖細胞(精子と卵子)と受精卵から組織・器官の発生過程を説明できる。人体の各部の名称を説明できる。		医歯薬出版 解剖学 配布プリント	今話題の生殖医療について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
	各コマにおける授業予定	C発生(①人体発生 ②組織・器官の発生) D器官系統(①定義 ②器官系) E人体の区分(①区分 ②細区分 ③区分線)				
第5回	授業を通じての到達目標	体循環と肺循環の特徴・相違を説明できる。動脈と静脈の相違を説明できる。特殊な形態(吻合や伴行静脈など)を持つ血管を説明できる。心臓の構造・弁などを説明できる。		医歯薬出版 解剖学 配布プリント	心電図、心音は生理学とコラボレーションした予習をする。前回の講義を理解しているか確認して小テストに備える。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
	各コマにおける授業予定	3. 脈管系 A総論(①体循環と肺循環 ②血管の形態・構造) B心臓(①位置・形態 ②構造 ③弁 ④心臓壁の構造 ⑤刺激伝導系)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	体循環と肺循環の特徴・相違を説明できる。動脈と静脈の相違を説明できる。特殊な形態(吻合や伴行静脈など)を持つ血管を説明できる。心臓の構造・弁などを説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	心電図、心音は生理学とコラボレーションした予習をする。前回の講義を理解しているか確認して小テストに備える。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	3. 脈管系 A総論(①体循環と肺循環 ②血管の形態・構造) B心臓(①位置・形態 ②構造 ③弁 ④心臓壁の構造 ⑤刺激伝導系)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の栄養血管を説明できる。心臓を支配する交感神経と副交感神経を理解する。心膜を構成する線維性心膜と漿膜性心膜を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	虚血性心疾患について調べる。平成天皇陛下の心臓バイパス手術に用いられた動脈とは何か調べてみる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	3. 脈管系 B心臓(⑥心臓の脈管 ⑦心臓の神経 ⑧心膜) C-1肺循環		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓の栄養血管を説明できる。心臓を支配する交感神経と副交感神経を理解する。心膜を構成する線維性心膜と漿膜性心膜を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	虚血性心疾患について調べる。平成天皇陛下の心臓バイパス手術に用いられた動脈とは何か調べてみる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	3. 脈管系 B心臓(⑥心臓の脈管 ⑦心臓の神経 ⑧心膜) C-1肺循環		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	上行大動脈と大動脈弓の枝・分布域を説明できる。頭頸部に分布する総頸動脈を説明できる。上肢に分布する枝を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	虚血性脳血管障害について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C-2体循環 ①動脈系(大動脈、頭頸部の動脈、上肢の動脈)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	上行大動脈と大動脈弓の枝・分布域を説明できる。頭頸部に分布する総頸動脈を説明できる。上肢に分布する枝を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	虚血性脳血管障害について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C-2体循環 ①動脈系(大動脈、頭頸部の動脈、上肢の動脈)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸腹部・骨盤内部の主要な臓器に分布する動脈を説明できる。下肢に分布する枝を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	胸部と腹部の臓器について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C-2体循環 ①動脈系(胸大動脈、腹大動脈、骨盤部の動脈、下肢の動脈)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸腹部・骨盤内部の主要な臓器に分布する動脈を説明できる。下肢に分布する枝を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	胸部と腹部の臓器について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C-2体循環 ①動脈系(胸大動脈、腹大動脈、骨盤部の動脈、下肢の動脈)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	大静脈と全身の静脈の種類を説明できる。特殊な形態を持つ皮静脈・奇静脈・門脈を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	下肢静脈瘤、深部静脈、表在静脈について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C-2体循環 ②静脈系(上大静脈、下大静脈、門脈、骨盤の静脈、下肢の静脈) ③胎児循環 Dリンパ系(①リンパ本幹②リンパ性器官)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	大静脈と全身の静脈の種類を説明できる。特殊な形態を持つ皮静脈・奇静脈・門脈を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	下肢静脈瘤、深部静脈、表在静脈について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C-2体循環 ②静脈系(上大静脈、下大静脈、門脈、骨盤の静脈、下肢の静脈) ③胎児循環 Dリンパ系(①リンパ本幹②リンパ性器官)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の組織学的基本構造を説明できる。口腔壁の構造、歯、舌、唾液腺を説明できる。呼吸器系と呼吸器系の両系に属する咽頭を上中下に分けて説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	舌の機能を調べる。消化器系と呼吸器系に属する咽頭の特徴を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	4. 内臓系 A消化器系(①消化器の働き ②消化器の種類・構造〔口腔～咽頭～食道〕)		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	解剖学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎201
担当教員	池 宏海	実務経験と その関連資格	過去25年間、大阪歯科大学解剖学講座に大学院生・助手・助教・講師として従事していた。現在、開業医を務める傍ら、他の3校でも解剖学の講義を行っている。			
《授業科目における学習内容》						
医学の最も基礎となるのが正常な状態の構造を学ぶ解剖学である。解剖学的知識を習得し機能を学ぶ生理学、病態を学ぶ病理学に繋がる。これらの流れで臨床に役立たせることを目的とする。解剖学では人体を系統別に分けて講義を進めて行く。						
《成績評価の方法と基準》						
毎回の小テスト、中間試験と前期試験の結果で総合評価する。前期試験は四肢択一、記述、論述を混合させた形式とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医歯薬出版 解剖学 解剖学ハンドブック						
《授業外における学習方法》						
予習も重要であるが、毎回の講義・演習問題の復習をして、理解できなかった事項を克服する。						
《履修に当たっての留意点》						
解剖学は地味な学問ですが、柔道整復師にとって最も重要な学問であることを認識すること。授業内容だけでなく、テレビ・雑誌・インターネットなどで得られた情報も知識とすることを薦めます。各自マイ・ノート作りが肝要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器系の組織学的な基本構造を説明できる。口腔壁の構造、歯、舌、唾液腺を説明できる。呼吸器系と呼吸器系の両系に属する咽頭を上中下に分けて説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	舌の機能を調べる。消化器系と呼吸器系に属する咽頭の特徴を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
		各コマにおける授業予定	4. 内臓系 A消化器系(①消化器の働き ②消化器の種類・構造〔口腔～咽頭～食道〕)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	直接、消化吸収に関わる胃・小腸・大腸・肛門の構造を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	消化管の運動、消化管ホルモンについて調べる。腸内フローラや大腸がん等について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
		各コマにおける授業予定	4. 内臓系 A消化器系(①消化器の働き ②消化器の種類・構造〔胃～肛門〕)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	直接、消化吸収に関わる胃・小腸・大腸・肛門の構造を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	消化管の運動、消化管ホルモンについて調べる。腸内フローラや大腸がん等について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
		各コマにおける授業予定	4. 内臓系 A消化器系(①消化器の働き ②消化器の種類・構造〔胃～肛門〕)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	重要な消化液を分泌または輸送・貯蔵する肝臓・膵臓。胆嚢を説明できる。多くの臓器が存在する腹腔の腹膜を腹膜後器官の有無で説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	胆汁の組成・生成、三大栄養素を分解する膵液について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
		各コマにおける授業予定	4. 内臓系 A消化器系②消化器の種類・構造〔肝臓・胆嚢・膵臓、腹膜〕)			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	重要な消化液を分泌または輸送・貯蔵する肝臓・膵臓。胆嚢を説明できる。多くの臓器が存在する腹腔の腹膜を腹膜後器官の有無で説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	胆汁の組成・生成、三大栄養素を分解する膵液について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。	
		各コマにおける授業予定	4. 内臓系 A消化器系②消化器の種類・構造〔肝臓・胆嚢・膵臓、腹膜〕)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	空気と血液の間で行われるガス交換(外呼吸)を説明できる。鼻腔から気管支までの気道とガス交換の場である肺について説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	換気の仕組みについて調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	内臓系 B呼吸器系 (①呼吸器の働き ②呼吸器[外鼻～肺、胸膜、縦隔])		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	空気と血液の間で行われるガス交換(外呼吸)を説明できる。鼻腔から気管支までの気道とガス交換の場である肺について説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	換気の仕組みについて調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	内臓系 B呼吸器系 (①呼吸器の働き ②呼吸器[外鼻～肺、胸膜、縦隔])		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液中の老廃物と不要物質を尿として排泄する機構と構造を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	尿の生成(原尿、再吸収など)について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C泌尿器系 (①泌尿器の働き ②泌尿器(腎臓、尿管、膀胱、尿道))		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液中の老廃物と不要物質を尿として排泄する機構と構造を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	尿の生成(原尿、再吸収など)について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	C泌尿器系 (①泌尿器の働き ②泌尿器(腎臓、尿管、膀胱、尿道))		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	種の維持を続けるための生殖器を男女別に説明できる。精子産生部位の精巣、精子が通る精路ならびに付属器官を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	精子形成、勃起、射精について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	D生殖器系 ①生殖器の働き ②男性生殖器(精巣と精巣上体、精管、精囊、付属生殖器、陰茎と陰囊)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	種の維持を続けるための生殖器を男女別に説明できる。精子産生部位の精巣、精子が通る精路ならびに付属器官を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	精子形成、勃起、射精について調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	D生殖器系 ①生殖器の働き ②男性生殖器(精巣と精巣上体、精管、精囊、付属生殖器、陰茎と陰囊)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	卵巣での性周期を含め、卵子産生、受精、卵管、子宮、着床を説明できる。付属器官と会陰部を説明できる。胎盤の構造・意義を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	卵巣周期、月経周期とホルモンとの関係を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	D生殖器系 ③女性生殖器(卵巣、卵管、子宮、膣、外陰部、会陰、卵巣と子宮周期)		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	卵巣での性周期を含め、卵子産生、受精、卵管、子宮、着床を説明できる。付属器官と会陰部を説明できる。胎盤の構造・意義を説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	卵巣周期、月経周期とホルモンとの関係を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	D生殖器系 ③女性生殖器(卵巣、卵管、子宮、膣、外陰部、会陰、卵巣と子宮周期)		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌と外分泌と相違を説明できる。内分泌腺の種類・位置・ホルモンについて説明できる。	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	ホルモンの種類と作用を調べる。前回の講義を理解したうえで、小テストに挑む。
		各コマにおける授業予定	5. 内分泌系 A内分泌系 (①内分泌器の働き ②内分泌器(下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、精巣、卵巣))		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医学の基礎となる正常状態の構造を学ぶ解剖学の理解度を確認する	医歯薬出版 解剖学 配布プリント	理解できていない部分をテキストを用いて、再確認する。
		各コマにおける授業予定	前期全講義理解度の確認		